

平成30年度第3回リサイクルプラザ運営委員会 会議録

1 開催日時

平成30年7月21日(土) 午前10時～11時20分

2 開催場所

成田市小泉344番地1

成田市リサイクルプラザ 2階 活動室

3 出席者

(委員)

片岡委員長、長尾副委員長、関根委員、渡邊委員、稲阪委員、篠原委員、
鈴木委員、和田委員

(事務局：クリーン推進課)

黒田課長、北崎副参事、麻生課員

4 欠席者

福原委員

5 議題

- (1) 布切れからの帽子づくりの結果報告
- (2) 牛乳パックからはがき・広告紙から小物入れについて
- (3) 川口市リサイクルプラザの視察について
- (4) 着物から作務衣づくりについて

6 議事(要旨)

- (1) 布切れからの帽子づくりの結果報告

事務局 申し込みが8名、キャンセルが2名あり、参加者は6名(1人男性)であった。全員が完成することができ、自宅でも作るということで型紙を全員持ち帰った。アンケートの結果は、作業時間は「適度」が全員、課題については、「難しかった」が3名、「丁度良い」が3名であった。今後リサイクル教室で取り上げて欲しいものとして、「和布(着物をほどいた物)を使用してリメイク」、「男性のワイシャツ・スーツ・上着・ネクタイを使用してリメイク」等の意見があった。

今回初めて1日をかけて行ったが、来年度も同じでいいと思う。

委員長 講師は半日ずつ2回に分けて行いたいようだが、アンケートでは1日でよいという結果が出ているので、来年も1日でよいと思う。

(2) 牛乳パックからはがき・広告紙から小物入れについて

事務局 参加希望者がなかったなので、委員長と相談して取りやめることとした。

委員 7月21日(土)は、夏休み初日で、開催のタイミングとしては、よくなかったと思う。また、広報に載っている内容だけでは、イメージがわからない。作品を写真に撮ってチラシを作り学校、公民館等に置いてもらうとか、PRの仕方を工夫する必要がある。

委員長 来年は、日時の設定、PRの仕方等考える必要がある。

(3) 川口市リサイクルプラザの視察について

事務局 8月7日(火)川口市リサイクルプラザの視察に行く。行程として、8時20分リサイクルプラザ集合、8時30分出発、10時30分川口市リサイクルプラザ到着、その後館内視察(1時間半)。14時川口市リサイクルプラザ出発、16時到着予定である。見学後、感想等の提出をお願いする。

委員長 参加状況はどうか。

事務局 運営委員7名、小泉管理組合2名、資源回収協同組合1人、市職員4名、計14名の予定である。

(4) 着物から作務衣づくりについて

事務局 作務衣づくりは、9月4日(火)、9月11日(火)にあり、11日の午前は、リサイクルプラザ運営委員会がある。

型紙はこちらで用意するものなのか。

委員 型紙は、講師が採寸してから切っていた。M・L・LLのサイズの型紙を用意しておけば、スムーズに出来るのではないかと思う。

委員長 3種類の型紙と方眼紙の購入をすること。

募集時、ミシンを使用できる人とする事。

事務局 方眼紙は枚数の確認をして、用意する。又広報には、ミシンを使用出来る人と記載する。

7 その他

なし

8 傍聴

なし

9 次回開催日時(予定)

平成30年9月11日(火)